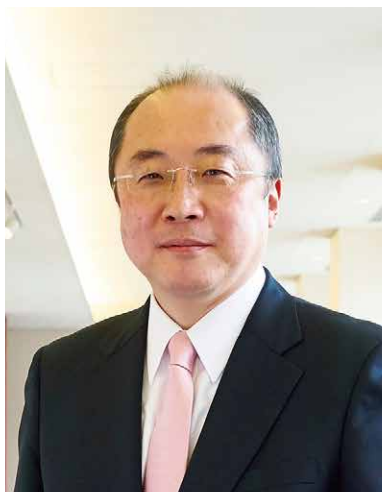


将来の山桜会活動への熟成期間



会長 平泉 憲一

長く続いた新型コロナ禍も、ようやく終焉の兆しが見え始めましたが、今しばらくは慎重に活動せざるをえません。コロナ禍に遭遇して私たちの活動内容は一変し、この1年半以上、Zoomなどリモート会議だけになってしまいました。ただ、これまで場所の関係で会議に出られなかった方や時間のやりくりがつかなかった方が、リモートならば出席いただいたりと参加者が広がった面もありました。

これまで山桜会活動は、定例の企画の準備を重ねながらずっと走ってきました



茨木中高贈呈式(リモート)

だが、今、コロナ禍で立ち止まることによって、未来の山桜会活動を考える時間が与えられました。将来の構想を考え、現在までの活動を踏まえて、これからやるべきことを皆でじっくりと話し合う、そんな熟成の期間を経て、来年の総会で将来の山桜会活動方針をご報告できたらいいなと考えています。みなさまからのご意見をお待ちしております。

早くみなさま方と従前のように集まって楽しく山桜会活動を行いたいと心より願っています。



小学校贈呈式



大手前中高贈呈式

追手門学院

アフターコロナを見据えて



理事長 川原 俊明

平泉憲一会長を始めとする山桜会の皆様方には、日頃から学院の運営で支援にご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年からの新型コロナウイルス問題は、甚大な被害を及ぼしてきましたが、非常警戒体制もとりあえず終了となり、このまま収束に向かうことを願うばかりです。

学内では、職域接種を中心に教職員ならびに大学生を中心に、ワクチン接種が進められてきました。授業展開も、



対面やリモートを併存させながら、遅れない教育展開を実現できました。

山桜会には、今まで自粛を余儀なくされていた新年会、総会などの会合、ゴルフコンペなど、様々な活動の再開を楽しみにしています。

学院と山桜会は車の両輪です。連携をさらに強化し、教育の質保証を実現します。学院生のために自信と誇りを高め、卒業生に社会で大いに活躍していただけるよう母校の発展に全力を傾注していきたいと思ひます。

